

令和元年7月17日

九州電力株式会社
川内原子力発電所長 川江 隆文殿

川内原子力規制事務所
統括原子力運転検査官 鶴園 和男

安全文化・組織風土劣化防止に係る取組の総合評価について

平成30年4月1日から平成31年3月31日に行われた、川内原子力発電所における安全文化醸成活動については、以下のとおり評価しましたので通知します。

記

【総合所見】

平成30年度の計画に掲げた取組は、事務所要請事項も含めすべて実施され、改善に向けた取組が継続されており、安全文化・組織風土劣化防止に係る取組状況については「計画に基づいた取組が行われ、改善傾向が見られる。」と評価する。

しかしながら、平成31年3月には不適合管理に関連して業務の要求事項を満足していない事象である不適合の全てが「不適合管理基準」の中で網羅的に管理される状況になっていなかったことに対して注意[※]するとともに、保安活動の実効性を確保するための改善を求めた。このため、「誤った意思決定を避ける方策」の安全文化の要素について、また、その他気付き事項に関連した「作業管理」の安全文化の要素についても改善の余地があることから、安全文化・組織風土の劣化兆候に関しては「さらに傾向を見るため継続した監視を必要とする。」と評価する。

以上

[※] https://www.nsr.go.jp/jimusho_PLK/00000161.html